兵庫民医連　東日本大震災　対策ニュース

県連内の動き　【4／5（火）　16時現在】大震災から26日目　第22号

【法人の支援状況と動き】

各法人の支援状況　　全国で１，４８９名の支援（4/4 日現在）

【本日までの支援参加者数】
尼崎医(22)　共和会(27)　神戸医(16)　姫路医(4)
クリエイト(2)　駒どり(1)　はぁもにぃ(3)　ヘルス(1)
たじま(2)　県連等(5)　　合計：83名

【今後　支援予定者】
4/9～14　駒どり　２名
4/11～17　駒どり　１名、神戸医３名
4/15～22　神戸医　２名
＊その他、個別の調整もさせていただいております。

【4/4 現在の支援者職種別内訳】

医師（１１）　看護師・保健師（２９）　介護職（７）　セラピスト（３）　栄養士・調理師（３）
薬剤師（２）　放射線技師（２）　事務（２５）　他・医学生等（１）　合計　８３名
延べ人数　　４４１人

法人の動き　【本日の午後４時までに届いた各法人のニュースに基づいて掲載しています】

【共和会】
・第 22 回の対策会議を行なっています。支援者のメンタルヘルスについて、尼崎医療生協の取り組みを参考に、衛生委員会で協議をすることにしました。
・共和会・互助組合に集まっている支援物資を分類し、１９箱の段ボールに分けて 4/1 に全日本民医連に送付しました。全日本から被災地に送ります。締切り後に到着した６箱も全日本民医連に送ります。

【尼崎医】
・第 4 次医療支援隊の吉田さんから「ひだまりの里」に救援物資依頼のＦＡＸが入り、入浴介助で必要な、タオル、石鹸、肌着、日用品などの物資を用意し、5 箱をみやぎ県南医療生協に発送しました。

現地レポート（尼崎医チーム）　（尼崎医対策ニュースNo.１９より）

壊滅的被害の「みやぎ県南医療生協」地域で活動開始（井上看護師長、安田、吉田の介護福祉士）

みやぎ県南医療生協の事業所周辺は被害を比較的免れた地域ですが、案内してくれた梅津専務は、多賀城市内を車で走っていた時に大地震に遭遇し、大津波が来て車を乗り捨て、ガソリンスタンドの洗車機の上に飛び乗り何とか助かったといいます。3 時間ほど水は引かず途中、子ども 2 人が流されてきて助かったそうです。

県南医療生協は、坂総合病院から 40 キロ程南で、福島第 1 原発から 60 キロ北のところです。到着後は海沿いの壊滅状態の亘理町などを前専務の渡辺さんに案内していただきました。想像を絶するすさまじい状態です。写真を事業所のパソコンを借りて送りました。夕方からは、原発から 40 キロの山元町（壊滅状態だが、他の地区みたいに TV 報道されず、支援も遅れている）避難所の震災以降から入浴されていない方をデイで受け入れ入浴介助にあたりました。明日は避難所めぐりをして物資の仕分け、事業所からは安否確認の電話がけをおこなう予定です。

法人別義捐金集約（4/5 現在）　19，578，041 円

尼崎医グループ	5，331，453円	たじま医	569，290円
共和会グループ	6，605，027円	駒どり	1，642，340円
神戸医グループ	3，087，815円	はぁもにぃ	95，090円
宝塚グループ	589，483円	県連・兵医協	441，000円
姫路医	1，216，543円	合計	19，578，041円